

施策 9 文化財の保存と活用

指標 1	【項目】 伝統的建造物の復原等修理費への助成件数			【説明】 川越の町並みを市民や来街者が歩いて体感できるよう実施した伝統的建造物の復原等修理費助成の累計件数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	件	75	78	82				93
担当課評価								
【担当課】 都市景観課 <ul style="list-style-type: none"> ・進ちよくは順調です。 ・経過目標程度の修理事業を計画的に実施しています。 ・今後も、保存修理事業を計画的に実施していくため、伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めるとともに、市が交付する補助金の財源を確保するため、文化庁等との連絡調整に努めます。 								
指標 2	【項目】 重要伝統的建造物群保存地区の防災に関する活動への参加人数			【説明】 重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺に整備した防災設備を使用しての防災訓練等の参加人数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	人/年	35	8	12				50
担当課評価								
【担当課】 都市景観課 <ul style="list-style-type: none"> ・進ちよくはあまり順調ではありません。 ・コロナ禍のため、想定していた防災訓練が開催できませんでしたでしたが、観光案内所職員を対象とした少人数による防災訓練の開催など、開催方法を工夫することで、参加人数は令和2年度より増えました。 ・今後も、状況に応じて開催方法を工夫しながら、自治会等を中心とした防災訓練を開催できるよう努めます。 								
指標 3	【項目】 河越館跡地の史跡公園整備事業進捗率			【説明】 国指定史跡河越館跡の指定範囲内における、史跡公園整備事業の進捗率				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	30.4	33.4	36.4				50.0
担当課評価								
【担当課】 文化財保護課 <ul style="list-style-type: none"> ・進ちよくは概ね順調です。 ・これまで史跡公園整備事業の第1期整備範囲の整備が完了しており、令和3年度は、事業用地すべてが公有地化されました。 ・今後、市道の付替えやガイダンス施設等の建設が進むことで進捗率が上昇する見込みです。 								
指標 4	【項目】 郷土学習を受けた学級数			【説明】 文化財保護課・博物館職員による出前授業とバス利用による博物館内授業を受けた学級数の合計				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	学級	266	74	185				285
担当課評価								
【担当課】 文化財保護課 博物館 <ul style="list-style-type: none"> ・進ちよくは概ね順調です。 ・コロナ禍のため、博物館内での授業の受け入れはできませんでしたが、文化財保護課と博物館の職員による出前授業や、バス利用により博物館を訪れた学級数は、令和2年度より増えました。 ・今後も目標値の達成に努めます。 								

施策 9 文化財の保存と活用		総合評価
		B
総合評価について	<p>目標値達成に向け、概ね順調に推移しています。コロナ禍で、市民参加を求めづらい状況ではありますが、史跡や博物館等を生かし、今後も文化財の保存と活用を進めます。</p>	
学識経験者等 学意	<ul style="list-style-type: none"> 川越市のような歴史と伝統がある街は、郷土学習が充実している方が望ましいと考える。指標4などは特定の学年を対象とするのではなく、他学年にも広げていただきたい。 山王塚古墳の保護について、全国的にも6基しかない貴重な史跡であるため、公開に向けて引き続き頑張ってください。 	

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	①文化財の保存と活用				担当課	関連指標
					文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な歴史的財産である文化財を後世に残し、伝えるために、文化財の保存に努めるとともに、関係各課と連携し、文化財の価値を生かした活用を積極的に図ります。 ・ 文化財を次代に継承するため、所有者支援の在り方について関係者とともに検討します。 ・ 効率的な試掘・確認調査等の実施により、埋蔵文化財に関する基礎情報の収集に努め、工事関係者との保護調整により、埋蔵文化財の効果的な保存を図ります。 ・ 未指定を含めた文化財について、地域社会とともにその保存・活用を総合的かつ計画的に実行するため、文化財保存活用地域計画を策定します。 					
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋蔵文化財調査件数 109件（発掘調査件数 12件、試掘調査調査件数 97件） ・ その他文化財調査件数 48件 ・ 永島家住宅（旧武家屋敷）見学者数 1,077人、教育施設等へ埋蔵文化財貸出件数 4件、博物館等での県指定文化財の公開件数 2件 					
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	文化財調査件数（件）	75	36	48		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋蔵文化財調査は、民間の開発開発計画に伴う調査が多い状況です。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他文化財調査は、対面調査を行わなければならないため、コロナ禍においては十分な注意が必要です。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋蔵文化財調査は、民間の開発計画に合わせて実施できるよう今後も努めます。 ・ その他文化財調査は、文化財指定に至らない資料についても正確な調査を実施し、文化財保護審議会に報告します。 ・ 調査した文化財は、今後策定予定の「文化財保存活用地域計画」に反映するよう努めます。 					

細 施 策	②無形民俗文化財の保存と後継者の育成				担当課	関連指標
					文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ぐるみで保存継承する体制の確立を支援します。 ・ 後世に伝えるための後継者育成の取組を積極的に支援します。 ・ 映像や画像による記録を行い、保護団体による文化財の伝承に活用できるよう努めます。 					
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民俗文化財保存修理件数 1件 ・ 後継者養成・保存事業実施団体数 12件 					
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	後継者養成事業実施団体数（件）	16	13	12		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民俗芸能後継者養成や祭礼行事の保存、用具の保存修理等の事業に対し、保護団体に補助金を交付しました。修理に対して技術的な指導・助言を行いました。 ・ コロナ禍により、令和3年度は行事や芸能練習が中止となりました。後継者養成・保存事業の実施団体数が減少傾向にあります。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化等の影響もあり、地域の伝統的な祭りや芸能の継承が課題です。 ・ コロナ禍により、無形民俗文化財行事の映像等記録保存が実施できていません。 					
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民俗芸能の後継者養成や祭礼行事の保存、用具の保存修理について、保護団体に対し適切に補助金を交付していきます。 ・ コロナ禍が続き、後継者養成等に支障がある無形民俗文化財の保存継承のため、個々の課題解決に向けた改善策を保護団体と検討していきます。 ・ 機会を捉えて、無形民俗文化財行事の映像等記録保存に努めます。 					

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	③重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実	担当課	関連指標
		都市景観課	指標1
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物の保存修理等を実施し、あわせて官民連携による保存技術の継承や、担い手の確保と育成等に努めます。 ・ 伝統的建造物の耐震化や自主防災体制の整備に努めます。 	その他の関連指標:指標2	
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修理事業（国庫補助対象）／山崎家住宅一番蔵：左官工事 雪塚稲荷神社拝殿：木工事・建具工事 山崎家住宅文庫蔵：左官工事 小林家住宅住居棟：木工事・屋根工事・左官工事・板金工事 ・ 地区の啓発パンフレット作成／伝建地区の概要 ・ 歴史的建造物の保存技術の継承策の立案に伴うヒアリング調査の実施 ・ 防災訓練支援/店舗が行う防災訓練への協力、仲町観光案内所での防災訓練の開催 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的建造物所有者の修理要望の把握及び保存対策調査を計画的に実施したことにより、修理件数累計が想定目標値を上回っており、順調に進捗しています。 ・ 伝統工法の技術を有する技術者を対象とした、ヒアリング調査を実施し、技術者の状況把握と課題抽出を行っています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の開催にあたり、コロナ禍であることを考慮したうえで、開催方法等を検討する必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存修理事業を計画的に実施していくため、引き続き伝統的建造物所有者の意向把握や保存対策調査による現状把握に努めます。 ・ 市が交付する補助金の財源を確保するため、文化庁等との連絡調整に努めます。 ・ 歴史的建造物の保存技術の継承策の検討に向けて、引き続き伝統工法の技術を有する技術者を対象としたヒアリング調査を実施します。 ・ コロナ禍であることを考慮したうえで、自治会等を中心とした防災訓練を開催できるよう努めます。 		

細 施 策	④河越館跡の整備・活用	担当課	関連指標
		文化財保護課	指標3
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土学習の場、市民の憩いの場として河越館跡史跡公園等の整備を継続し、市民や自治会等の公共団体、NPO法人、大学等と協働してその有効活用を図ります。 		
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市道付替予定用地を含めたすべての土地の公有地化（そのうち土塁部分の遺構確認調査を実施） ・ 河越館跡史跡公園（未整備地を含む）の活用を目的とした「河越流鏑馬」（コロナ禍により中止） ・ 河越館跡整備検討委員会から、発掘調査の成果と今後の整備事業の進め方等について、意見等を聴取 		
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地（史跡部分）の公有地化が完了しました。 ・ 史跡公園完成に向けて道路の付替やガイダンス施設等の建設について検討しています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河越館跡の活用等について、保存活用計画の策定を見据えた検討が必要です。 ・ 史跡公園の活用が、「河越流鏑馬」に限定されています。中世武士の有様等が理解できるような事業を検討する必要があります。 		
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河越館跡の活用等や保存活用計画の策定を河越館跡整備検討委員会で検討します。 ・ 今後策定を予定している「文化財保存活用地域計画」との関連性も踏まえ、中長期的なスケジュールを検討します。 		

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (1)文化財の保存と活用

細 施 策	⑤山王塚古墳の保護			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 国内で最大規模の上円下方墳である山王塚古墳について、未来に伝えるべき貴重な文化財として国指定史跡とすることを目指し、関係機関と協議を進めていきます。 				
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 大東南公民館で開催された山王塚古墳に関する講座への職員の派遣、座学及び現地見学会の実施 参加者数 21人 国指定史跡に向け、史跡範囲の地権者への説明（一部同意を得た） 山王塚古墳調査検討委員会 書面会議の実施 				
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	山王塚古墳現地説明会等参加者数（人）	124	開催中止	21	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国に6基しか存在しない希少価値のある史跡です。 史跡範囲のほぼ全域が民地です。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民への周知が進んでいないので、今後、さらに広報普及活動を行うとともに、地権者の同意を得た土地は国指定史跡に指定し、地権者とともに環境整備を行う必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であることを考慮したうえで、調査検討委員会を実施します。 山王塚古墳の史跡としての学術的な価値について地元自治会等への啓発活動をさらに進めます。 国指定に向け、史跡範囲の地権者の同意を得るために説明を行い、同意を得た範囲については国指定史跡に向けた意見具申を行い、令和4年度内の指定を目指します。 				

【施策の柱】 (2)地域の歴史や伝統文化の継承

細 施 策	①文化財保護意識の啓発			担当課	関連指標
				文化財保護課	—
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 先人の営みの中で生まれ、大切に護り伝えられてきた文化財の価値と保存の意義について、わかりやすく多くの人に伝え理解を深めてもらうために、文化財保護意識の啓発に努めます。 埋蔵文化財は、日常生活では目に触れることがない地下に存在することから、その周知を図るとともに、市民の保護意識の醸成に努めます。 				
令和3年度の主な実績	<ul style="list-style-type: none"> 川越市の文化財等を紹介するホームページの更新 かわごえ文化財通信の発行 2回 公民館等への講師派遣数 11件 遺跡発表会（9月18日開催で計画。台風接近により中止） 				
成果実績	項目名（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	職員を講師として派遣した件数（件）	21	7	11	
現状・課題	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財包蔵地は、市内360か所以上に点在しています。その情報は常時窓口で閲覧できるように備えています。 令和3年度の遺跡発表会は、台風接近のため中止としましたが、例年、多くの参加者がいます。貴重な出土遺物を活用して、身近にある文化財であることの周知に努めています。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の有無は、土地取引における評価に直結し、所有者にとっては重大な個人情報です。そのため、所有者への配慮と周知の効果と適切な公開方法を、慎重に検討する必要があります。 				
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 公開と保存について慎重に検討して情報発信に努めます。 				

【施策】 9 文化財の保存と活用

【施策の柱】 (2)地域の歴史や伝統文化の継承

細 施 策	②地域の歴史・伝統文化の継承に向けた学びの促進	担当課	関連指標
		文化財保護課・博物館	指標4
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が地域の歴史・伝統文化への興味・関心を高め、誇りや愛着をもって大切に継承する心を育むため、出前授業及び博物館による積極的な学習の機会の提供を図ります。 ・川越の歴史や文化を守り続けている人々から学び、自分たちの住む「ふるさと川越」を知る機会を創出し、文化を学び育てる取組を推進します。 		
令和3年度の主な実績	<p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業の実施 6学級 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校利用（小学校6年生）91学級 ・出前授業の実施 88学級 		
現状・課題	<p>現状</p> <p>【文化財保護課・博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校からの依頼により出前授業の講師として職員を派遣しています。 <p>課題</p> <p>【文化財保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での授業時数の確保が求められる中で、地域の歴史や伝統文化を学習する機会を創出することが難しくなっています。そのため、学校を離れた地域活動に対し、資料提供や講座開催等、支援方法について検討が必要です。 <p>【博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校における3、6年生の利用について、継続的に実施できるよう努めるとともに、各学校における川越の歴史・文化の学びの内容に配慮して実施する必要があります。 		
課題解決のための取組	<p>【文化財保護課・博物館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校からの依頼による出前授業への講師派遣や博物館による積極的な学習機会の提供に努めます。 ・「文化財保存活用地域計画」策定作業を進める中で得られた情報を資料化して伝えることで、地域の子どもたちに伝統文化の継承への動機付けを進めます。 ・博物館の利用や出前授業について、学校との打ち合わせを密に行い、より充実した内容になるようプログラム・資料等の工夫や改善を進めます。 		